

奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会 次第

令和7(2025)年1月27日(月) 10:00~

於 栃木県庁 15 階第5会議室

1 あいさつ

2 自己紹介

3 議題

(1) 奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会の設置について

(2) 今後の進め方について

4 その他

1. 「奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会」の設置について

自然豊かな奥日光地域へのアクセスを自動車に頼らず強化していくため、環境に配慮した新たな公共交通システムの導入などに取り組んでいく。

公共交通で円滑に周遊

東武日光線・JR日光線
日光宇都宮道路

これまでの取組

自動運転バス実証実験
(R5～)

戦場ヶ原

男体山

いろは坂

華厳の滝

奥日光地区

世界遺産
地区

臨時駐車場
(2社1寺周辺)

臨時駐車場
(竜頭の滝)

交差点改良
(竜頭の滝入口)

バス路線見直し
(日光道利用)

いろは坂
(新モビリティ)

多車線化
(清滝IC～細尾大谷橋)

中宮祠渋滞対策

中禅寺湖

明知平ロープウェイ

地理院地図
電子国土Web

1. 「奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会」の設置について

奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会

【設置の目的】

奥日光地域における持続可能な地域づくりに向けて、現状把握と課題の抽出を行い、関係者が連携して環境に配慮した今後の持続可能な奥日光地域のあり方を検討する。

【検討する事項】

- (1) 奥日光地域における現状と課題に関すること
- (2) 奥日光地域における持続可能な地域のあり方に関すること
- (3) 奥日光地域への人や物の流れを円滑化する新たなモビリティに関すること
- (4) その他、本会の目的を達成するために必要と認められること

【検討会構成員】

- ☐ 栃木県
- ☐ 日光市
- ☐ 東武鉄道株式会社

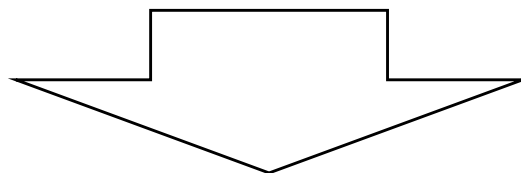
2. 今後の進め方

今後のスケジュール

令和6年度 第1回奥日光地域における持続可能な地域づくり検討会

令和7年度 「奥日光地域アクセス新モビリティ導入検討調査」実施

※観光シーズンの交通渋滞、いろは坂による日々の移動の負担、物流や公共交通のドライバー不足、カーボンニュートラルの実現など、奥日光地域の課題を解決するため、人流・物流の現状を把握、分析したうえで、新たなモビリティの導入に向けた基礎調査を行う。



調査状況等も踏まえ、国や地元関係者等も含めた議論に拡大しながら、実現に向けて必要となる検討や調整を進めていく